

# 臨時農業生産情報

(低温に対する技術情報)

平成21年5月20日

青森県「攻めの農林水産業」推進本部

仙台管区気象台が発表した「低温に関する異常天候早期警戒情報」(東北地方)によると、5月26日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり低くなる見込みですので、次の事項に留意し、水稻の栽培管理に万全を期してください。

## < 低温になる前の技術対応 >

- 1 天候が安定しているうちに、田植えを終了する。
- 2 田植えを行った水田では、天候に合わせた水管理で水温の上昇を図り、活着の促進に努める。

## < 低温になった場合の技術対応 >

- 1 田植えが終了した水田では、苗が冠水しない程度のやや深水にし、保温に努める。
- 2 まだ田植えしていない場合の苗の管理は、日中はハウス等の換気を弱めにし、夜間はハウスを閉じるなど寒さから保護する。

報道機関用提出資料(連絡先)	
担当課 (グループ名)	農産園芸課 稲作振興グループ (農林水産部 小笠原次長・報道監)
電話番号	(内線) 3456・3457 (3181 小笠原)
	(外線) 734-9480